



丸みを帯びた機能的なデザイン、価格は16,500円(消費税込)



機械化が進む同社の工場内。均一な製品が生み出される



1台で対面(ヨコ置き)と隣接(タテ置き)の両方で使用できるように支柱や板面の形状を工夫している

エンドユーザー向けのオリジナルパーテーション商品を開発し、ECサイトでの販売と受発注システムの整備に挑む

オリジナル商品の開発力不足が課題に

自社製品を実際に見て確認することができる展示場を持ち、2つの工場から住宅用の建具などを主力製品に成長してきた(株)岡田建具製作所。得意先は道央圏に所在を置くハウスメーカーや工務店。中でも、ハイセンスな住宅メーカーを中心に受注生産を行う。強みは、自社工場内の機械化が進んでいること。老練の職人技に頼ることなく、一定の品質で短納期を実現。得意先が求める多品種の少量生産に应运って成長してきた。

しかし、中長期的な視点で見た時、事業の継続・発展には新商品の開発や新たな販路の開拓が不可欠だと同社では考えていた。ところが受注依存体質のスタッフからは、オリジナル商品を生み出す開発力やデザイン力が不足していることを痛感。商品の販売先も既存の取引先のみということが課題だった。

プロダクトデザイナーとパーテーションを開発

以前からご縁のあったプロダクトデザイナーから本事業の存在を教えてもらった。折しも世の中はコロナ禍に陥っていた。飲食店な

どで急速に利用が拡大したパーテーションに着目。開発がスタートした。プロダクトデザイナーとは月に1回ペースで、2時間ほどの打ち合わせや議論を重ねた。技術的な試行錯誤が繰り返され、令和2年12月「pateco(パテコ)」と名付けられたデザイン性と機能性をあわせ持ったパーテーションが完成した。

パテコはインテリアとしても遜色ないデザイン性が魅力。道産シラカバ(間伐材)の合板支柱と透明アクリル板を組み合わせたシンプルな構造。板の幅を60~98センチから選べるセミオーダーが可能で、1台からの注文にも応える。恵庭市の公共施設に寄贈したことや、マスコミの報道などで、すでに20台強が売れた。同社ではこのパテコの販売でBtoC市場へ事業の進出を目指し、ECサイトの開設を準備する。既存の得意先にもウェブを使った受発注システムを稼働させ、将来的には全国からの受注に応じられるメーカーを目指して開発を急いでいる。

株式会社 岡田建具製作所

ハウスメーカーや工務店を得意先に、木製造作建具や家具などを提供

恵庭市で北海道産の無垢材を使ったオリジナルのドア(建具)・インテリア家具の設計・製造・取付工事を手掛ける。



代表取締役/小泉雅博さん(左)
製造部・技術リーダー/長谷川徳威さん(右)

プロダクトデザイナーさんのおかげ

新商品をつくりたいと言ったところで、さて何をつくったらいいのか。プロダクトデザイナーさんのサポートがなければ製品化ができませんでした。今回の支援をきっかけに、飛躍に結びつけたいと思っています。

会社情報

設立 昭和42年
従業員数 32名
代表者 小泉 雅博

恵庭市黄金南1丁目313番地40
TEL 0123-32-2805
FAX 0123-33-1257

<http://www.okadatategu.com/>

